

いてふ

ICHO No40 2020 9



Hofu Institute of Gastroenterology

一般財団法人

防府消化器病センター

消化器疾患を中心に
質の高い、安全で、温かみのある医療を提供し
予防医学、研究事業を通して
地域社会に貢献します

肛門洗浄器症候群 そのウォシュレットの使い方間違っていますか？ 診療部長 竹尾 幸子

みなさん今日は。5月から宇都宮先生を引き継ぎ肛門外科もやっている竹尾です。

ところでみなさん、『ウォシュレット』ご存知ですよ？ウォシュレットはTOTOの商品名で、一般名は温水洗浄便座、INAX（現LIXIL）ではシャワートイレというのだそうです。1980年発売だそうですので、当時小学生だった私は、開業医の伯父の家いち早く設置されたそれが何をやるものなのか分からず、とりあえずスイッチを押して、一体何が起きるのかワクワクしながら便器を覗きこんで待っていたら、おもむろに、目の前に伸びてきたノズルから水が噴射され顔がびしょ濡れになったという苦い思い出があります。

現在のものは便座に座らないと作動しない仕組みになっているようですので、きっと同じような苦い経験をした人が沢山いて苦情を言ったに違いないと信じて疑っておりません。

最初の出会いが出会った私と違ってこの『ウォシュレット』、巷では相当な歓迎をもって受け入れられているようで、噂によると、世界に誇る日本の製品だとか持て囃されているとかいらないとか。

しかしながらこの『ウォシュレット』が、新たな肛門疾患を生み出しているということとは、あまり知られていない事実なのではないでしょうか？

そんな馬鹿な？ウォシュレットは痔の人の味方じゃないの？ゴウゴウの紙拭きから解放された時の幸福感は一体何だったというの？今更紙には戻れないワ……。ごもつともです。



気になる方は続きをお読みください。

既に肛門科を受診されたことのある方はご存知かと思いますが、最初の間診時に必ず確認させていただくことがあります。それはウォシュレットを使っていますか？強さは？時間は？どこに当てていますか？ということです。

使用している大抵の人は「もちろん使用しています。」と得意げにお答えになられます。こんなに清潔にしているのに何で病気になったのか。それは使い方を誤っているからです。

ご承知の通り肛門は便が出る場所です。便には食べかすや老廃物はもちろんのこと、菌や消化酵素が含まれてい

ます。この消化酵素はもともと食べた肉や脂を溶かして吸収されやすくするためのものです。腸の壁も構成要素は蛋白質や脂肪です。壁は溶かされないよう日々せっせと粘液を出して自らを守っています。ところが直腸に液体を注入すると、折角のこのバリアを洗い流してしまうので

す。無防備になった壁に無情にも便は襲い掛かります。こうしてなすすべもなく壁は溶かされ、そこへ容赦なく菌が侵入し、かくしてお尻は腫れあがるというわけです。

じゃあウォシュレットは使うなっていうの？冗談じゃないわ。紙でなんて拭いたら余計痛いじゃないの。

よろしいですか？ウォシュレットが悪いのではありません。使い方が悪いのです。

強さは弱で。左右に1～2秒ずつ。決して真ん中には当てない。これをきちんと守ってください。中には水になるまで流す、とか、中心に強く当てて刺激で便を出す、といった強者がいらっやいますが、決してそのような使い方をしてはいけません。

一度中に入った水は後で便と一緒に漏れてきます。そのような人のお尻は、綺麗になったつもりでも必ず便が付着しています。それがかゆみやかぶれの原因になるのです。肛門科を受診される方の中には、ウォシュレットの使用を止めてみただけで劇的によくなる方が多くいらっやいます。もしも心当たりがある方は一度使用法を改めてみてください。もしくは思い切って止めてみてください。肛門科を受診しなくても良くなるかもしれません。

理想のお尻の洗い方は、洗面器にお湯を汲んで、手で掬って洗うことです。お風呂の時にシャワーを強く当てるのも良くありません。

風呂場とトイレが離れている時はどうすんの？外でする時は？

肛門科では術後の方にハンドィの洗浄器を購入していただいています。当院売店でも売っていますので、詳しくは肛門科でお尋ねください。

それではみなさま、くれぐれも直腸には水を入れないよう。御注意くださいね。



新型コロナウイルス検査体制の動き

病院長 三浦 修

新型コロナウイルス感染症は、全国的にも第 2 波の様相を呈しています。山口県でも、新規感染者数は徐々に増加し、身近なところにも確実にウイルスは存在していると認識しなくてはなりません。

米国ニューヨーク州での報告をみると、感染第 1 波での感染拡大を見事に収束させ、さらに経済活動を再開させつつも、その後の感染者数を確実に抑え込んでいます。その背景には、PCR 検査を受けるための制限を無くしたクオモ州知事のリーダーシップが貢献していると言われています。検査の優先順位は決めながらも、医療従事者又は本人が必要と考えた場合には、いつでも原則無料で検査を受けることができ、州は膨大な数の PCR 検査結果の動向を把握して、段階的に経済活動再開の政策決定に生かしている

されています。

山口県でも、患者推計に基づいた感染拡大状況をフェーズ 1 からフェーズ 4 まで設定、対応医療機関ならびに確保病床数を決めています。検査体制も今までの保健所主体の行政検査に加えて、県内 8 か所で「地域外来・検査センター」を設置、かかりつけ医（登録制）からの事前予約での PCR 検査などが可能となります。

今後、冬季を迎えるにあたり、臨床の現場ではインフルエンザなどの呼吸器感染症と新型コロナウイルスとの鑑別が必要となります。各医療機関において、簡便にかつ迅速な検査体制の確立が、患者さんの治療方針の決定にも、院内感染の防止と医療スタッフの健康を守るためにも必須となります。

News of our Center

N95 マスク研修会を終えて

ICT 看護師 永松 都子

去る 8 月 4 日に興研株式会社様のご協力により、N95 マスクの正しい着脱方法について研修会を開催しました。

今、最も注目されている感染症は COVID-19 であり、日々のニュースで必ず話題となり、陽性患者数を確認する毎日になっています。山口県でもクラスター発生があり、感染拡大防止策の必要性を強く感じます。

当院では流行当初より ICT が中心となり、感染対策に努めています。院内感染対策の周知徹底のため、感染対策関連 50 問テストの実施や、ウィークリーリマインドとして感染関連ワードの掲示、また、PPE の適正使用ができるように職員一人一人、着脱訓練を実施しました。

先日の N95 マスク研修では、看護部だけでなく、薬剤部、検査科、放射線科、医事課からも出席がありました。全ての医療従事者がハイリスクな場面に遭遇する可能性を考慮し、COVID-19 のみならず様々な感染症への対策として、スタッフ全員が自分自身を守るために理解しておく必要があると考えます。



今回の実践を通して正しくスムーズに N95 マスク着脱ができるようになり、研修効果がありました。現場で装着する看護師を中心に定量的フィットテストも行い、数種類の N95 マスクより、自分に合ったマスクを選択することができ、大きな安心感につながりました。安全・安心の確保のために、適切なマスクの選択とユーザーシールチェックが必須です。リスクの高い場面を想定して準備しておくことはとても大切なことだと思います。

今もなお、COVID-19 収束が見えてこない現実があります。全職員が院内感染対策を周知して実践できるように、私たち ICT が中心となって積極的に活動していきたいと考えています。

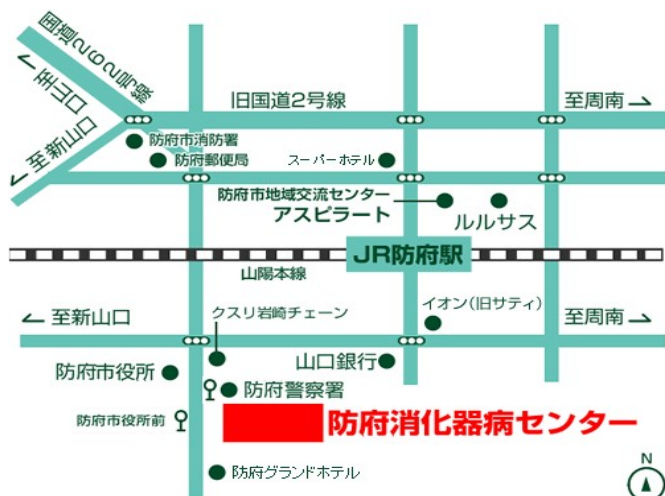
外来診療予定表							
	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	藤原 9:00~	三浦	三浦	藤原 9:00~	三浦	交代制
	2診						
	3診	三浦	竹尾	竹尾	竹尾 9:00~		交代制
	5診	生形	宮崎	生形	田口/好中 (交互)	生形	交代制
	6診				宮崎		
	肛門外科					竹尾	
午後	1診	生形(※1)	休診	宮崎(※1)	休診	休診	休診
	肛門外科	竹尾(再診)	休診	休診	休診	日高(※2)	休診
		診療日時		受付時間		診療時間	
平日	午前		8:00~11:00		8:30~		
	午後(月・水)		13:30~16:30		14:00~		
土曜日	午前		8:00~11:00		8:30~		

※1 都合により代診になる場合があります。

※2 肛門外科：12:00より外来診療を行っております。14:00以降は手術や処置が入ることがございます。お問い合わせください。

土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。

Access



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL : 0835-22-3339 (代表)

H P : <https://www.hofu-icho.or.jp>



■交通機関のご案内

【電車】 JR 防府駅よりバス 2 分 (防府市役所前下車)

または JR 防府駅より徒歩 10 分

【バス】 防府市役所前下車

【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10 分

Editorial Note

秋です。立秋から秋というのは実感ありませんが、例年だと 9 月は朝晩の空気や空に秋の気配を感じます。今年は少し様相の違う季節感で、夏からいきなり冬にならないよう切に願っております。斜に構えとなる今日この頃、「まだまだ夏みたいに暑い！」若千子供じみた表現で今月は夏の季語ひまわりの登場です。ひまわりの真ん中で存在感のある種は日向葵子という生薬でもあり出血性下痢に使用されています。当院での治療には用いませんが、好んでつままれる方も多いと聞きます。胃腸もいたわって、残暑にまけず頑張りましょう。事務局長 栗林左知